



校報 水糸者

No. 883

29年度・第56号

1学期の仕上げをがんばる種小っ子たち

1学期の登校日数もあと6日間となりました。

子ども達は学習・運動・生活のまとめや仕上げに励んでいます。

ここ数年にはなかった猛暑が続いていますが、種小っ子はしっかりと勉強し、元気に遊びまわっています。

この時期の1日・1時間は大変貴重な時間となりますので、ご家庭でもお子さんの体調管理につきまして、よろしく願いいたします。暑い日が続く、つい清涼飲料水を多く摂取しがちですが、取り過ぎては体にマイナスとなりますので、水やお茶などでの水分補給をお願いいたします。



水筒を持参し登校して来る子ども達。熱中症対策については、13日付の文書のとおりです。

進化も実態も怖さも恐ろしさも… 知らぬは親ばかりかも!?

13日(木)の岩手日報に「ネット取引の相談増・スマホ世代が被害に」という、ネットでの売買に関する注意喚起の記事が掲載されました。本校の子ども達と普段会話していると、「ネットで買い物をした」、「テレビよりユーチューブがおもしろい」、「将来は、ユーチューバーになる」など、昭和時代の私には理解できない、信じられないような話を普通にします。

先日の地区懇談会でもスマホを含む情報機器により犯罪に巻き込まれる危険性や健康被害などについては話題となって いました。

昨年度の「洋野町生徒指導推進協議会総会」の中で、久慈警察署種市交番の川崎前所長さんは「児童を取り巻く環境について」と題しての講話で、インターネットが介在する事件について警鐘を鳴らしていました。

〔事件に巻き込まれないための留意点…川崎前所長の講話より〕

- ・インターネットが介在する事件は、他の犯罪と異なり、都市部・地方関係なく発生する傾向がある。
- ・便利さと手軽さにカモフラージュされているが、基本的に「インターネットという『街中』で、自分が伝えたい情報を掲げてたたずんでいる状況」と等しい。
- ・自分自身が発信する情報について、自分自身が責任を負わなければならない。
- ・インターネットの世界に絶対安心はない。



親が知らない場所や時間帯での子どもが行う、情報端末(PC,スマホ、通信ゲームなど)は、学力低下の心配だけでなく、犯罪被害(出会い系、詐欺など)や健康被害(睡眠障害、近視など)、仮想空間と現実社会との区別がつかなくなることによる、犯罪(詐欺や性犯罪含む)加害者となる危険性もあります。各家庭では「大都会でないから」、「まだ小学生だから」ということが通用しない世の中に「種小っ子」もさらされている事をしっかりと認識し、正しい使い方を繰り返し話していきましょう。



第1回地域教育協議会が開催されました。

「種市地区学校支援地域本部事業」の今年度の方針や活動を決定する『地域教育協議会』が14日（金）に行われました。

「学校支援地域本部事業」とは、全国各地で展開されている文部科学省の事業であります。本校は平成20年に指定されて以来、ずっとその活動を継続して来ています。

【「学校支援地域本部事業」の設立の趣旨やねらい】

社会がますます複雑多様化し、子どもを取り巻く環境も大きく変化する中で、学校が様々な課題を抱えているとともに、家庭や地域の教育力が低下し、学校に過剰な役割が求められている状況のなかで、これからの教育は、学校だけが役割と責任を負うのではなく、これまで以上に学校、家庭、地域の連携協力のもとで進めていくことが不可欠となっています。このため平成18年に改正された教育基本法には、「学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力」の規定が新設されました。学校支援地域本部は、これを具体化する方策の柱であり、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子供を育てる体制を整えることを目的としています。（文部科学省のホームページから引用）



本校では、この本部事業の構成組織でもある「子どもたちを支援する会」や「種市地区教育振興運動」等の活動が活発に行われています。

本校の子ども達の心には、地域や保護者の方々の、学校や子ども達の教育活動を支援している姿から、郷土の良さに気づき、郷土を愛する心が生まれる他に、学校以外にも多くの「先生」がいることに気づき、地域の方々への尊敬の念も生まれています。

家庭で「育み」、学校で「学び」、地域で「鍛える」ことによって、子ども達はますます健全に育っていくのです。今年度の本部事業もますます充実した活動が期待されます。

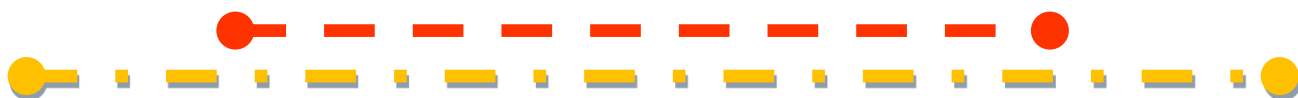


今年度の役員さんです よろしくお願ひします！

※敬称略

No.	役職等	氏名(所属など)	No.	役職等	氏名(所属など)
1	会長	田毛英明(種市小PTA会長)	8	委員	石村純子(図書ボランティア前代表)
2	副会長	大谷秀男(種市実践区副会長)	9	〃	太田武邦(種市小学校・校長)
3	〃	蔦木雅行(支援する会・会長)	10	〃	高橋修(種市中学校・校長)
4	委員	下田隆子(前 学校評議員)	11	〃	番沢鋭治(種市中PTA会長)
5	〃	大入一弘(前 学校評議員)	12	〃	磯崎泉(地域コーディネーター)
6	〃	久慈喜将(一区町内会長)	13	〃	坂川良子(種市小学校・副校長)
7	〃	櫃割由美子(ダイちゃんの家代表)	14	〃	森岩郁子(種市小学校・教務主任)

※学校支援地域本部事業の役員さんは、教育振興会種市実践区の役員も兼ねています。



祝・祝・祝・祝・祝 211名全員登校日が「6日間」となっています！ 祝・祝・祝・祝・祝

4月17日以来達成できなかった「全員登校日」が、7月に入り今日で5日間（5日、6日、11日、13日）もありました。いいぞ、種小っ子！（昨年度は、1年間で15日間でした）